



2 入力 2 出力 真空管搭載オーディオインターフェース

STUDIO VALVE

取扱説明書

miDiPLUS

はじめに

この度は MIDIPLUS STUDIO VALVE をお買い上げいただき誠にありがとうございます。STUDIO VALVE は 2 入力 2 出力を装備し、最大 24bit/192kHz のハイクオリティサウンドを実現する USB2.0 (USB3.0 互換) のオーディオインターフェースです。

2 系統の高音質マイクプリアンプに加え LED レベルメーター、ダイレクトモニタリング機能、モノラルスイッチ、48V ファンタム電源、Hi-Z 入力切り替えなど、オーディオインターフェースに求められるすべての機能を洗練されたデザインに凝縮。さらにサウンドに深みと暖かさを与える真空管（バルブ）を装備。録音時の入力段だけで無く、再生時の出力段にも真空管をアサインできるため、PC オーディオの再生用オーディオインターフェースとしても最適です。

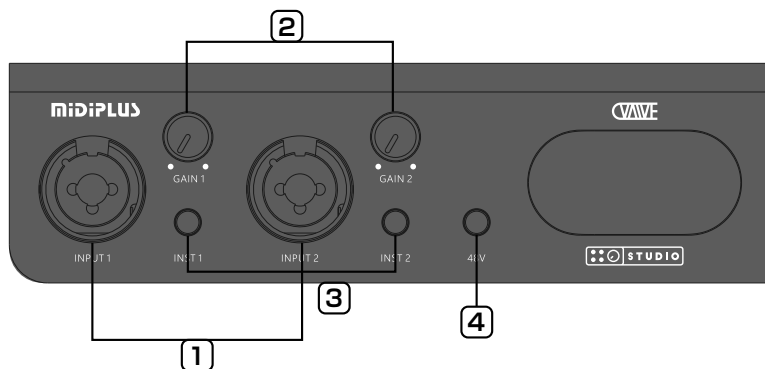
また、MacOS ではドライバをインストールせずに使用できるのでセットアップも非常に簡単です。さらに Windows では StudioMix コントロールパネルソフトウェア (WEB ダウンロードのドライバに同梱) を使用することで、バーチャルアウトプットによるループバックなど多彩なルーティングが可能になります。

特徴

- ・ 24bit/192kHz、2 入力 2 出力の高音質 USB オーディオインターフェース
- ・ 入力段および出力段のいずれかにアサイン可能な真空管プリアンプを搭載
- ・ LED シグナル / ピークインジケータ付入力ゲインノブを装備
- ・ 独立したメインボリューム及びヘッドフォンレベルツマミを搭載
- ・ ピークサイン付ステレオ LED レベルメーターを装備
- ・ ダイレクトモニタリングおよびステレオ / モノラル切り替えが可能
- ・ 48V ファンタム電源を装備
- ・ XLR、Phone のどちらも接続可能なコンボジャックを入力段に装備
ギターなどの接続に便利な Hi-Z 切り換えが可能
- ・ 出力端子には TRS バランスタイプを採用
- ・ StudioMix ソフトウェアにより、ループバックなど多彩なルーティングが可能 (Windows)
- ・ DC 12V/1A 電源アダプター付属

安全上のご注意～必ずお読みください～

- 表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。
- 本機の裏ぶたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機は湿気の多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。
- 長い時間使用しない場合は電源を切り、充電電池をとり外してください。
- ラジオまたはテレビの近くでは受信する電波に影響を与える場合があります。これらの機器とは十分な距離を取ってご使用下さい。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません
- 本取扱説明書は大切に保管してください。



1 マイク／ライン／ Hi-Z 対応コンボ入力端子

XLR および 6.35mm フォーンジャックを接続できるコンボタイプの入力端子です。

2 インプットゲインノブ

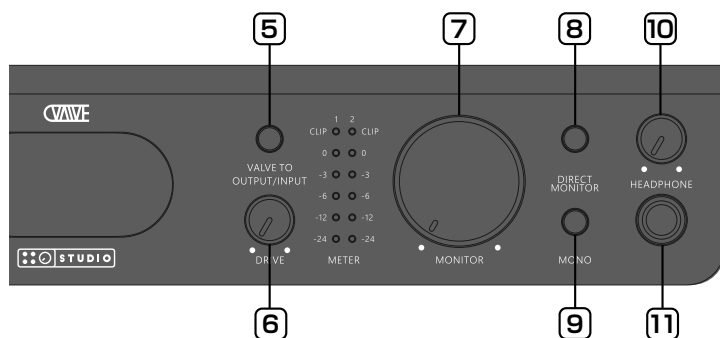
入力端子に接続したマイクや楽器などの入力ゲインを調節するツマミです。右に回すと入力ゲインを大きくできますので、マイクなどの音が小さい場合は右に回して調節してください。ツマミ位置を表示する部分が LED インジケーターになっており、信号が入力されると青色に点灯します。入力ゲインが高すぎて歪んでいる場合は、この LED が赤く点灯しますので、マイクやギターなどを入力して LED が赤くならない範囲でできる限り音が大きく（右に回して）なるようにしてお使いください。

3 インストルメント入力ボタン

入力端子のインピーダンスをハイインピーダンスに切り替えるスイッチです。青く点灯している状態がハイインピーダンスとなります。エレキギターやエレキベースなど、出力がハイインピーダンスの楽器を接続する際にオンにしてください。

4 48V ファンタム電源スイッチ

コンデンサーマイクなどを使用する際にこのスイッチをオンにすると 48V ファンタム電源を送ることができます。スイッチが青色に点灯している状態がオンです。入力 1 および 2 の両方にファンタム電源が流れます。なお、ファンタム電源を送る場合は必ず XLR タイプのケーブルを使用してください。コンボジャック内側のフォーン端子に TRS で接続してもファンタム電源は遅れません。また、マイクなどの危機を入力端子に接続する際は、必ずファンタム電源をオフにした状態で行ってください。また、入力端子から外すときは、ファンタム電源をオフにして 20 秒程度待ってから外してください。



5 VALVE（バルブ）コントロールスイッチ

バルブ（真空管）回路をオンオフするスイッチです。スイッチが消灯している時はバルブがスルー状態ですので音質に変化はありません。スイッチを一度押すと赤色に点灯し、バルブが入力端子側に配線されます。マイクやアコースティックギターなどで、暖かく深みのある音を録音したい場合にお勧めです。もう一度バルブコントロールスイッチを押すと青色に点灯し、バルブが出力側（バランスドアウトプットおよびヘッドフォン出力）に配線されます。DAW や PC の音を暖かく深みのある音で再生したい場合にお勧めです。もう一度バルブコントロールスイッチを押すと消灯し、バルブ回路がスルーの状態に戻ります。

なお、バルブコントロールスイッチを切り替えるときは、必ずメインボリューム及びヘッドフォンボリュームを 0 にした状態で行ってください。ボリュームを上げた状態で切り替えるとモニタースピーカーやヘッドフォンを破損する恐れがあります。

6 VALVE（バルブ）ドライブコントロール

バルブ回路の聞き具合（深さ）を調節するツマミです。右に回すほどバルブ回路の影響が大きくなり、暖かく深みのあるサウンドになります。なお、本気のバルブ回路は音にアナログ回路独特の温かみと深みを与えるもので、ギターアンプなどにあるオーバードライブ効果は得られませんのでご注意ください。

7 メインボリュームノブ

背面のバランスドアウトプットの出力ボリュームです。一番左の位置では音量 0 となり、右に回すほど大きくなります。ツマミのマークを時計の 3 時の位置に合わせたときにレベルメーターのレベルと出力のレベルがおおよそ一致します。

8 ダイレクトモニタリングスイッチ

入力端子に接続したマイクや楽器の音をダイレクトにモニターする際に使用するスイッチです。このスイッチをオン（青色に点灯）にすると、入力端子の信号が背面のバランスドアウトプットおよび前面のヘッドフォン出力に直接出力されます。

DAW 経由のモニター音が遅れて演奏しにくい場合などは、この機能をご利用ください。

9 ステレオ / モノラル モニタリングスイッチ

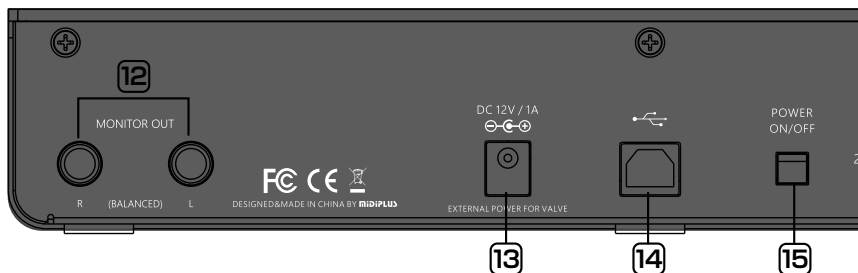
ダイレクトモニターのモニター音に対してステレオ / モノラルを切り替えるスイッチです。青色に点灯している状態がモノラルになります。ステレオの状態では INPUT 1 が左に、INPUT 2 が右に聞こえますが、ボーカルやギターなどの鹿苑寺で、INPUT 1 または INPUT 2 のいずれかしか使用しない場合にモノラルにするとモニターしやすくなります。

10 ヘッドホンボリュームノブおよびパワーインジケーター

ヘッドホン出力の音量を調節するツマミです。一番左では音量 0 となり、右に回すほど大きくなります。また、ツマミのマークが LED インジケーターになっており、青色に点灯している時は本体に電源が入っていることを示します。

11 ヘッドホン出力端子

6.35mm ステレオタイプヘッドホン端子です。標準プラグのヘッドフォンを接続してお使いください。



12 バランスドアウトプット端子

STUDIO VALVEのメイン出力端子です。フォーンタイプのシールドでミキサーやモニタースピーカーに接続してお使いください。この端子は TRS タイプのバランス出力となっていますので、バランス出力を使用したい場合は TRS タイプのフォーンケーブルをご使用ください。アンバランスであれば TS（一般的なギターシールドなどと同じタイプ）タイプのケーブルでもご使用いただけます。

13 電源アダプター端子

付属の電源アダプターを接続する端子です。専用のアダプター以外は接続しないでください。

14 USB 端子

コンピューターと接続する USB 端子です。USB-A（コンピューター側）と USB-B（STUDIO VALVE 側）のケーブルまたは USB-C（コンピューター側）と USB-B（STUDIO VALVE 側）のケーブルをご使用ください。

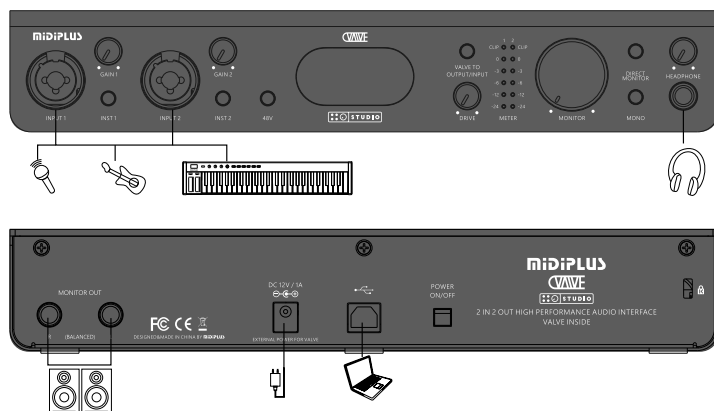
15 パワースイッチ

STUDIO VALVEの電源スイッチです。押し込まれている状態がオンになります。なお、電源をオンオフする際は必ずメインボリューム及びヘッドホンボリュームを 0 にしてから行ってください。

接続について

STUDIO VALVE をご使用の際は、下図を参考にコンピューターおよびヘッドフォン、モニタースピーカーなどの周辺機器を接続して下さい。なお、STUDIO VALVE には、付属の電源アダプターによる電源供給が必要です。

※コンピューターからのバス電源ではご使用になれませんので、必ず付属の電源アダプターを接続し、コンセントに接続した状態で POWER スイッチをオンにして下さい。



MacOS での使用

MacOS ではドライバソフトウェアをインストールすることなく使用可能です。Mac と STUDIO VALVE を USB ケーブルで接続し、POWER スイッチをオンにしてください。

Windows での使用

Windows OS を搭載したコンピューターでは専用のドライバソフトウェアをインストールしていただくことをお勧めしております。標準ドライバでもブラウザやメディアプレーヤーなど、一部のオーディオを再生することが可能ですが、ASIO ドライバを使用した DAW などでは STUDIO VALVE のパフォーマンスを十分に活かしきれませんので、専用ドライバをインストールしてお使いください。

専用ドライバは <https://midiplus.com/> の support ページより、STUDIO Series Driver を検索してダウンロード可能です。

ダウンロードしたファイルは Zip 圧縮されておりますので、解凍後下記ドライバからインストールを行ってください。

名前

更新日時

種類

Midiplus_Studio_v4.82.0_2020-05-07_setup.exe

2020/05/07 17:44

アプリケーション

StudioMix_setup_2020-09-04.exe

2021/01/15 16:18

アプリケーション

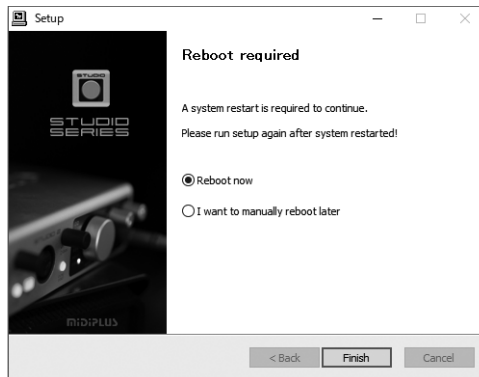
インストール方法

インストール前に、すべてのアプリケーションを終了しておいて下さい。

次に、ダウンロードしたドライバソフトウェアを解凍したら「Midiplus_Studio_Vxxxxxxxxxxx_Setup.exe」をダブルクリックします。

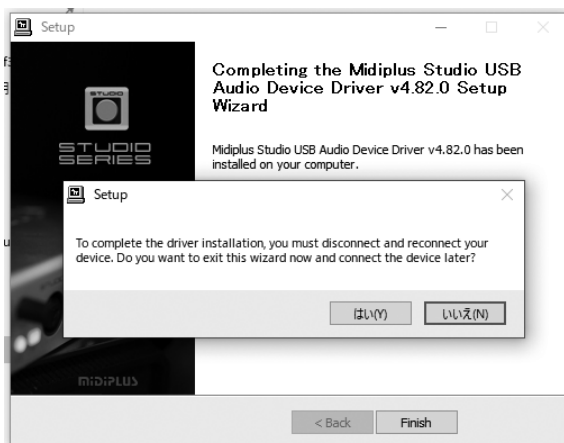
表示されるウィザードに従ってインストールを行って下さい。

一度下記画面が表示されたら、Reboot Now を選択してコンピューターを再起動します。



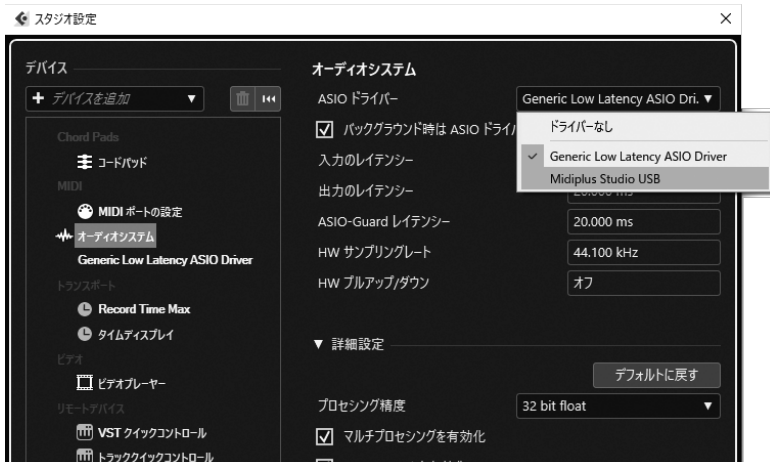
再起動後、もう一度「Midiplus_Studio_Vxxxxxxxxxxx_Setup.exe」をダブルクリックします。

再度ウィザードに従ってインストールを進めると、最終的に下記の画面が表示されますので、ここで STUDIO VALVE のパワースイッチをオフにし、USB ケーブルを一度外してから再度接続してパワースイッチをオンにしてください



これでインストールは完了です。

DAW ソフトウェアを立ち上げ、オーディオデバイスの設定に「Midiplus Studio USB」というドライバ名が表示されますので、それを選択して STUDIO VALVE をご使用下さい。



Cubase でのデバイス設定におけるドライバの選択例

StudioMix のインストール

Windows 用ソフトウェア「Studio Mix」を使用すると、コンピュータで再生されているオーディオ信号を STUDIO VALVE に接続したマイクの音と一緒に配信用アプリケーションに送る際に便利なループバックを設定することができます。

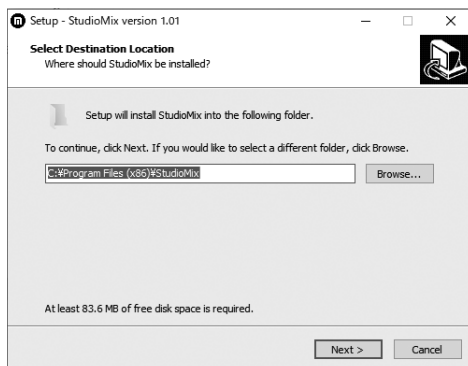
「StudioMix」は STUDIO Series Driver に同梱されています。STUDIO Series Driver の ZIP ファイルを解凍すると、同じフォルダーに「StudioMix Setup_xxxx-xx-xx.exe」というファイルがありますので、それをダブルクリックします。

名前	更新日時	種類
 Midiplus_Studio_v4.82.0_2020-05-07_setup.exe	2020/05/07 17:44	アプリケーション
 StudioMix setup_2020-09-04.exe	2021/01/15 16:18	アプリケーション

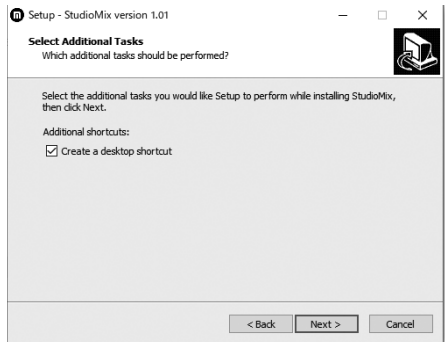
表示されるウィザードに従ってインストールを行って下さい。

※ユーザーアカウント制御の「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」というメッセージが出る場合がありますが、「はい」を選択して下さい。

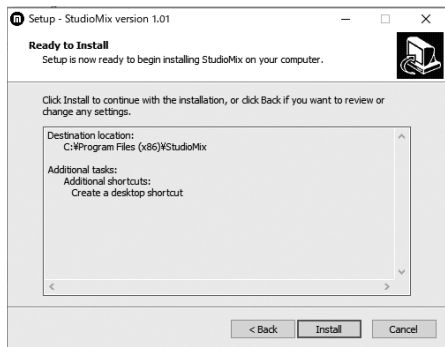
インストールする階層の選択を選択して NEXT をクリック



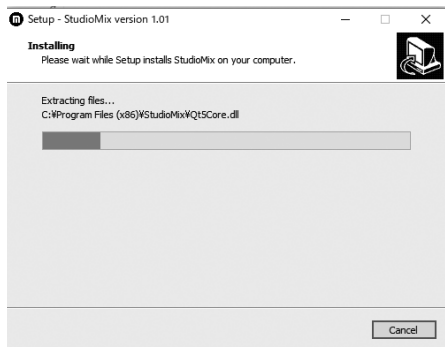
デスクトップにショートカットを作成する場合にチェックを入れて NEXT をクリック



NEXT をクリック



インストール中の表示



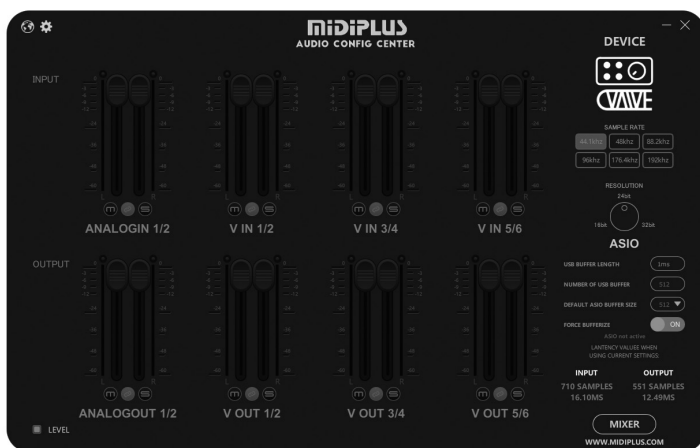
右記のダイアログが出たら Finish をクリックして StudioMix を起動します。



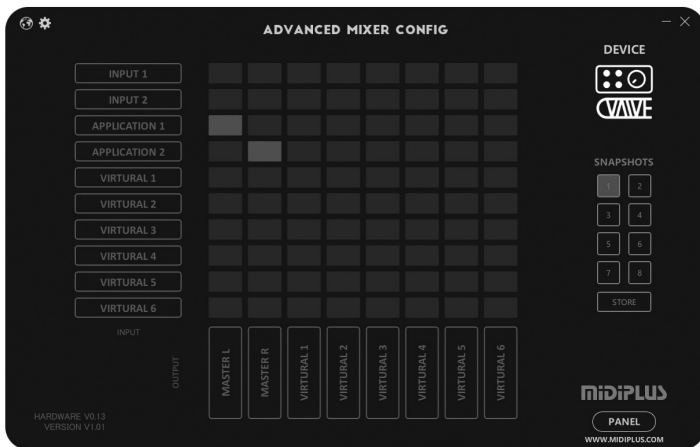
StudioMix の使い方

StudioMix には 2 つの画面があります。1 枚目は MIXER 画面、もう一つは PANEL 画面です。

MIXER 画面



PANEL 画面

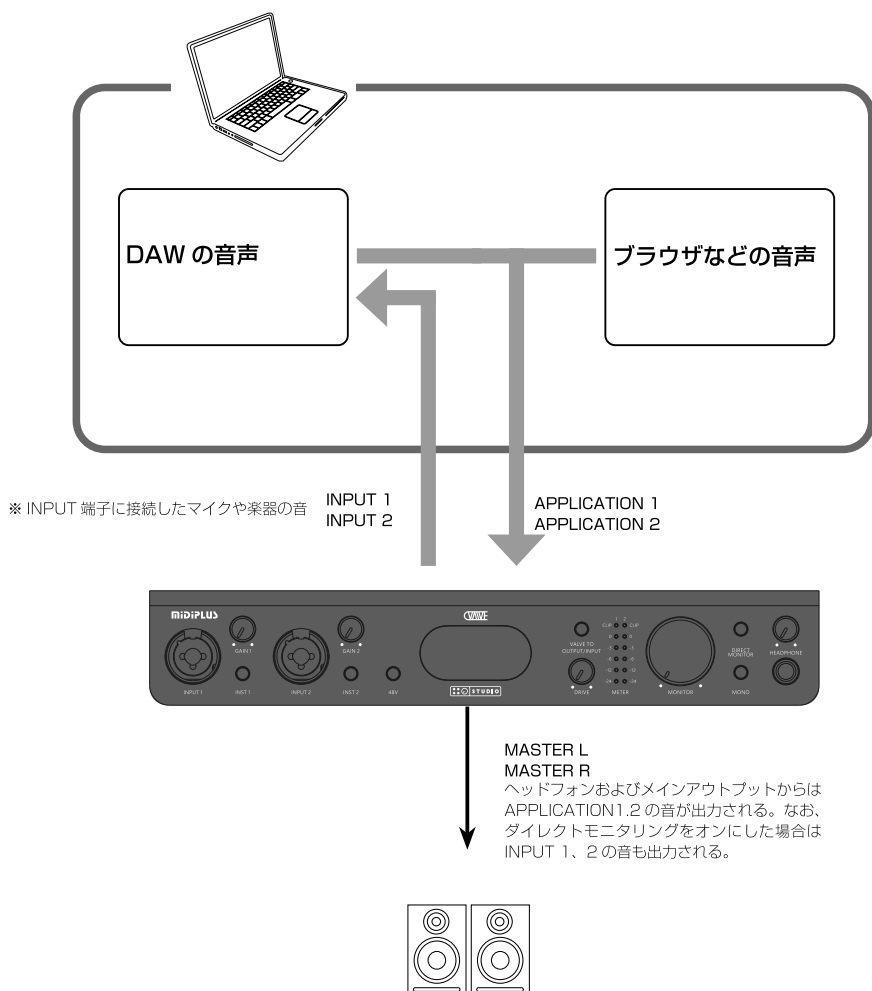


画面右下の「MIXER」または「PANEL」のボタンを押すと 2 つの画面を切り換えられます。STUDIO VALVE のドライバにはアナログイン 1 / 2 およびアナログアウト（メインアウト）1 / 2 の他に、VIRTUAL 1 ～ 6 の仮想入出力が装備されています。（MIXER 画面参照）

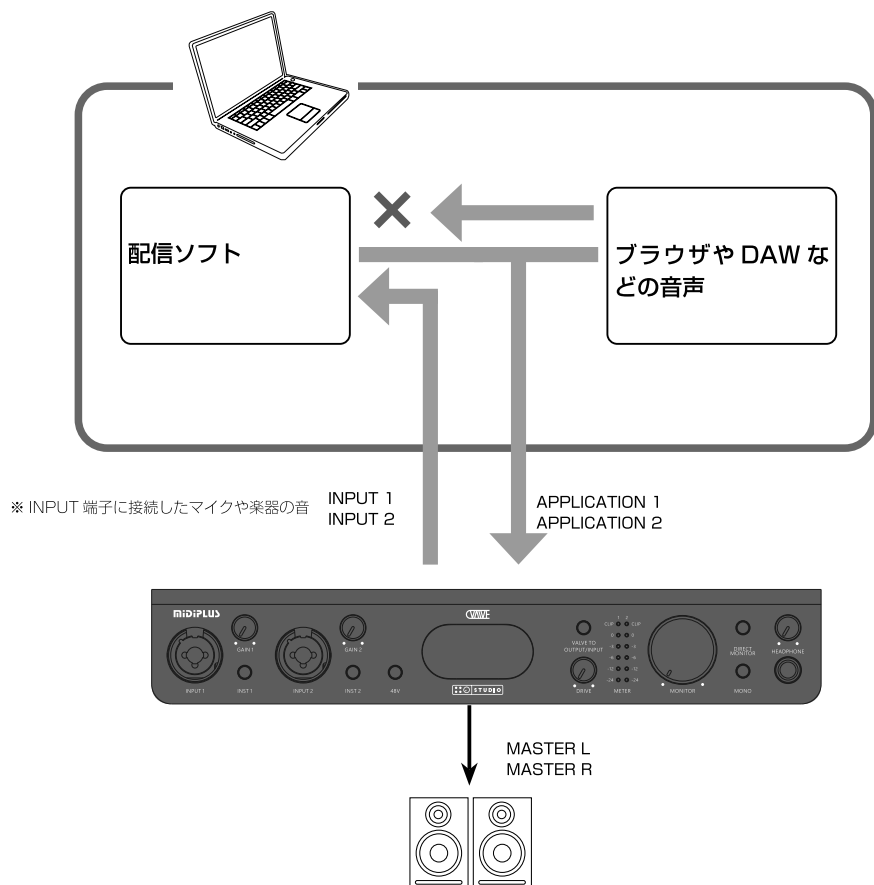
また、コンピューター内のオーディオアウト（DAW の出力やメディアプレーヤーの音）に関しては、APPLICATION 1（Lch）および APPLICATION 2（Lch）として別途認識されます。（PANEL 画面参照）。

PANEL 画面ではそれぞれのオーディオチャンネルをどの出力にアサインするかをマトリックスで設定することが可能です。

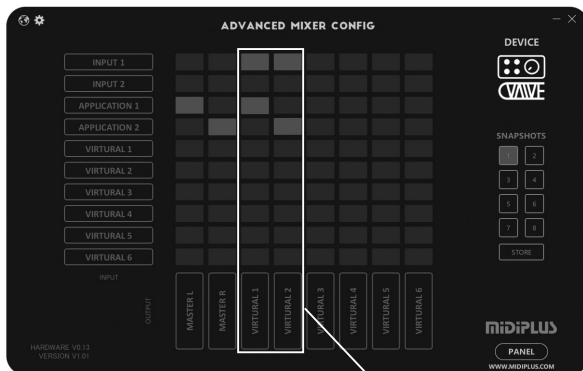
通常は APPLICATION 1、2 を MASTER L、R にアサインすることでコンピュータ内のオーディオを STUDIO VALVE から聞くことができます。(下図参照)



一般的な配信ソフトではオーディオインターフェースのマイク入力など、外部入力の音声を配信先に送ることは可能ですが、ブラウザや DAW の音声などコンピューター内部の音声は配信先に送ることが出来ません。

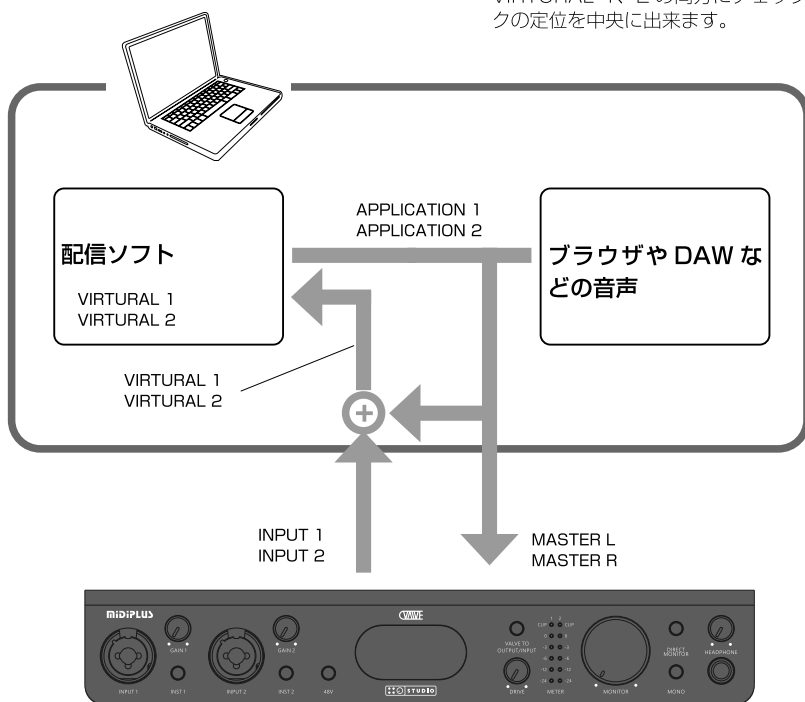


そこで、StudioMix の PANEL 画面で APPLICATION 1 (Lch) および APPLICATION 2 (Lch) を VIRTUAL 1、2 に出力するように設定します。さらにアナログインプット 1 にマイクを接続し、このアウトも VIRTUAL 1、2 に出力するように設定します。あとは配信ソフトの入力デバイスを VIRTUAL 1、2 に設定することで、STUDIO VALVE に接続したマイクの音とコンピューターのオーディオを両方とも配信先に送ることが出来ます。



VIRTUAL 1、2 に出力したい音声を
チェックする。

※ INPUT1 のみにマイクを接続した場合は、
VIRTUAL 1、2 の両方にチェックするとマイク
の定位を中央に出来ます。



仕様

ビットレート/ サンプリングレート	最大 24bit/192kHz
バルブ	プリアンプバルブ（真空管）× 1
インプット	コンポインプット（Mic/Line/Hi-Z）× 2
アウトプット	バランスアウトプット× 2、ステレオヘッドフォンアウト× 1
接続方式	USB2.0
ファンタム電源	48V
スイッチ	Line/Inst スイッチ× 2、48V ファンタム電源スイッチ× 1
ノブ	インプットゲイン× 2、バルブコントロール× 1、モニターコントロール
電源	CD12V/1A（付属の電源アダプターを使用）
寸法	269 × 116 × 45mm
重量	910 g
付属品	電源アダプター、USB ケーブル、取扱説明書、CubaseLE アクセスコード、 ステレオフォン<>ミニステレオフォン変換ジャック

保証書および保証規定

保証規定

本保証書による電子部品の保証期間は、製品ご購入の日から1年間です。
保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償での修理（または交換）をいたします。
なお、保証期間内であっても次に該当する場合は有償修理となります。

- ①お客様の不適当な取扱いによる故障の場合
- ②故障の原因が当社の責に帰さないとき
- ③本製品の本来の使い方以外で使用的場合
- ⑤火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
- ⑥誤った接続、操作による故障及び損傷
- ⑦ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷

故障、修理等のご相談ならびに各種サポートにつきましては、本保証書並びに購入日、購入店名がわかるレシート等をご用意の上、弊社サポートサイトよりご連絡下さい。

製品名	STUDIO VALVE
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お客様情報	住所 氏名 TEL _____ e-mail _____
購入店	

ユーザー登録とサポートについて

本製品のサポートにつきましては、下記サポートサイトにてユーザー登録の上、お問い合わせ下さい。

サポートサイト

http://www.fineassist.jp/support/contact_support/

MIDIPLUS 日本輸入総代理店

〒 461-0004 名古屋市中区葵 2-3-13 みねビル 3F

株式会社ファインアシスト

www.fineassist.jp

QR コード→

